平	成	2	3	年	度

## 古沙古坐际压士(\_\_\_\_\_\_

	ᅏᆑ	23年月	F			3	分野別王要事業   課内NO. /2   /2   /2   /2   /2   /2   /2   /2												
	一水	320 <del>1</del> 13	٤				F勿于未计Ш公(干成22年度の	天視計	- 1Щ.	,			平月	戊 23	年	4	F	1	日
	事務事業名 児童生徒に対する安全確保推進事業									区			事務事業No			0. 31529072			
	サ初争来行 光里工促に対する女王権体推進争来								分野別主要		課内No.			72					
				政	策体系	上の位記	置付け	~		未来プロジ	ェク	ト事業			事務	事業	主管	課	
政	行政	評価施	策名	16	学校教	育の充	実			市長マニフ	ェス	ト事業		所属部	ß	教	育	5員会	
策		政策名		3	豊かな	心と生き	がいを育む教育・文化環境づくり			合併建設計	一画	事業		所属謂	Ę.	学校都	教育	課	29
体		施策名		1	学校教	育の充	美		新	f規事業	<b>V</b>	継続事	業	課長名	1	컽	亰	志朗	
系	基	本事業	名	5	子供の	安全確保	呆	>	単	<b>独事業</b>		補助事	業	所属係	Ŕ	学	校孝	放育課	
				則	務会計	上の位記	置付け			事業期	間			担当者	名	ナ	木	春美	
로	算科目	会計	款	項	目	事業	非予算			単年度のみ	<del>}</del>								
]/ 5	<b>异174 日</b> [									単年度繰返		(		:	年度~	)			
法	令根拠									期間限定複	製:	年度(		2	年度~			年度	()

【Do】 1. 事務事業の現状把握

□→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

## 事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

## 【事務事業の内容】

近年、凶悪な犯罪が多発しており、子どもたちの安全確保には学校、保護者、地域住民との連携を強化して行く必要がある。児童生徒の安全に係る巡回等を行う「学校安 全ボランティア」の組織の立ち上げと参加者の呼びかけ等を支援する。また、平成22年度には県教委との共催でスクールガード養成講習会を実施し、学校安全ボランティア の養成に努めた。

## 【担当者が行う業務の手順】

- ·警察などからの不審者情報を入手→速やかに学校に連絡し、児童生徒への注意喚起やパトロールの強化を要請する
- ・学校の安全状況について調査を実施→集計し安全状況の改善に繋げると共に、県へも報告を行う

【事業費の内訳】人件費のみ

(1) 事務事業の目的				
①手段(22年度 実際に行った主な活動)		(5)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
		ア	巡回パトロールの回数	回
学校安全ボランティアやの登下校の立哨		1		
子校女主ホックティアでの立下校の立門	~	ゥ		
		エ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか)		<b>6</b>	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
		ア		人
市内小中学校	$ \Box\rangle$	1	生徒数	人
		ゥ		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		7		単位
	١.	ア	事件や事故の件数	件
児童生徒の安全確保	$ \Box\rangle$	1		
		ゥ		
④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)		8	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
児童生徒の安全確保が図られ学校教育の充実に繋がる		ア	不審者情報件数	件
ル主工化のメエル(水)の240十次状日の九大に素がる		1		
(の) 杉博店の推移				

(2) ‡	指標値の推移										•
	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	/
	E-71			(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(計画)	(計画)	(目標)	/
		ア	□	133	133	133	160	160	160	160	/
	⑤活動指標	1									/
	©/1130101m	ウ									/
		エ									/
	0.115.11.15	ア	人	2,692	2,629	2,579	2,554	2,412	2,311	2,091	/
	⑥対象指標	1	人	1,482	1,481	1,318	1,276	1,318	1,359	1,215	/
		ゥ	4.1			_	_	_		_	/
		ア	件			2	0	0	0	0	/
		1									/
		ウ	71								
<b>(8</b> )	3上位成果指標	ア	件			3	0	0	0	0	/
		1									期間限定
(3) ‡	投入量(事業費)の推	移		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	総投入量
	国庫支出金		十円								
_	財 県支出金		千円								
事	財果支出金地方債		千円								
業	財		千円千円								
業 投 費	財 県支出金 源 地方債 内 使用料・手数 訳 その他		千円 千円 千円								
業 投 費	財 県支出金 源 地方債 内 使用料・手数 記 その他 一般財源		千円 千円 千円 千円								
業費 入量	財 県支出金 地方債 内 使用料・手数 訳 その他 一般財源 事業費計(A)	**	千円 千円 千円 千円 千円	0	0	0	0	0	0	0	0
業費 人量 人	財 原支出金 地方債 内 使用料・手数 記 その他 一般財源 事業費計(A) 正規職員従事人	**	千円 千円 千円 千円 千円 千円	1	1	1	1	1	1	1	0
業費 投入量 人件	財 原支出金 地方債 内 使用料・手数 その他 一般財源 事業費計(A) 正規職員従事人 延べ業務時間	**	千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	1 80	1 30	1 32	1 32	1 32	1 32	1 32	0
業費 人件費	財 源 地方債 内 使用料・手数 記 子の他 一般財源 事業費計(A) 正規職員従事人 延べ業務時間 人件費計(B)	料数	千千千千八時千千八間千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	1 80 252	1 30 94	1 32 104	1 32 104	1 32 104	1 32 104	1 32 104	0
業費   人件費	財 原支出金 地方債 内 使用料・手数 その他 一般財源 事業費計(A) 正規職員従事人 延べ業務時間	数 数 3)	千千千千十一時千千	1 80 252 252	1 30 94 94	1 32 104 104	1 32 104 104	1 32 104 104	1 32	1 32 104 104	0

登下校時の安全確保のため対策として、国はすべての小学校区において、平成18年3月までに学校安全体制が整備されるよう学校安全ボランティアの参加は年々増えてい る。スクールガード・リーダーは国・県の方針変更でH21年度はやらなくなった。今後桜川市でやるときには予算面で負担が出てくる事が考えられる。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名 児童生徒に対する安全確保推進事業 事務事業No. 31529072 所属課 学校教育課 【See】 2. 評価の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価 価 評 項 日 ①政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 見直し余地がある 学校安全ボランティアによる巡回パトロールは児童生徒の安全確保に結びつく 結びついている ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) 的 妥 見直し余地がある 児童生徒の安全対策は市の責務である 业 妥当である 性 ③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) 見直し余地がある 適切である 適切である ④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がある 地域と連携して児童生徒の安全確保に務める。PRが足りなくて制度を知らない人が多い。 向上余地がない ⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 効 影響無 廃止・休止はあり得ない 性 影響有 ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある | 具体的な手段、事務事業名 統廃合ができる 連携ができる ⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 削減余地がある この事業に市からの費用負担はない ▶ 削減余地がない 勎 ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 性 削減余地がある 今以上の取組が必要であり削減の余地はない ▶ 削減余地がない ③ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公 Ψ 見直し余地がある 児童生徒の安全対策は市の青務である。 性 ✓ 公正・公平である 【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) 市の広報やホームページを通じ学校安全ボランティアの参加を呼びかける必要がある ① 目的妥当性 ✓ 適切 見直し余地あり ✓ ② 有効性 滴切 見直し余地あり ③ 効率性 適切 見直し余地あり ④ 公平性 ☑ 適切 見直し余地あり (3) 今後の事業の方向性 (複数回答可) (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) ┯→▼ 改革改善を行う -終了 🔽 継続-目的の再設定 効率性の改善 ☑ 有効性の改善 公平性の改善 □ 連携ができる ▶□ 現状維持 統廃合ができる 廃止 🗌 休止 コスト 増加 削減 維持 (3)-1 改革改善策 0 上 維持 成 果 低 下 (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) (1) 課長評価 課長確認後の評価 確認欄 A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 未 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出 (3) 2次評価における改革改善案 (4) 2次評価における指摘事項